

令和2年度開講 並木病院 専門看護コースについて

—患者、看護職員を中心とした切れ目ない
臨床完結型の現任教育をめざして—

医療法人社団 医鳳会 並木病院
看護部 教育担当師長

並木病院専門看護コースとは

従来の現任教育プログラムで採用されていた集合教育は、知識・技術の学修には適しているものの、学修内容が実践に結び付きにくいという課題がありました。

そこで、今年度並木病院看護部では、教育担当者が各部署に出向き、受講者である看護職員と共に看護を実践しながら、“講義 ⇒ 演習 ⇒ 実践(実習)”という切れ目ない教育活動を展開し、看護実践能力の向上を図ることをねらいとした専門看護コースを開設しました。

開設するコース

- 高齢者の日常生活援助の質向上コース①
食支援・口腔ケア
- 高齢者の日常生活援助の質向上コース②
排泄支援・陰部洗浄
- 認知症・せん妄対応能力向上コース（実践編）
- 看護研究コース

専門看護コースの流れ

ある日のA病棟の日勤の受講者



新人佐藤さん
新人技術確認



ラダーⅢ高橋さん
排泄支援コース



ラダーⅡ鈴木さん
食支援・口腔ケア
コース

A病棟の 日勤スケジュール	
9時	環境整備
10時	オムツ交換 ケア
12時	昼食
16時	オムツ交換

部署・受講者のスケジュールに合わせて教育担当者が部署に出向き、受講者と共に看護を実践しながら教育活動を展開していく(OJT)

同じ日のB病棟の日勤の受講者

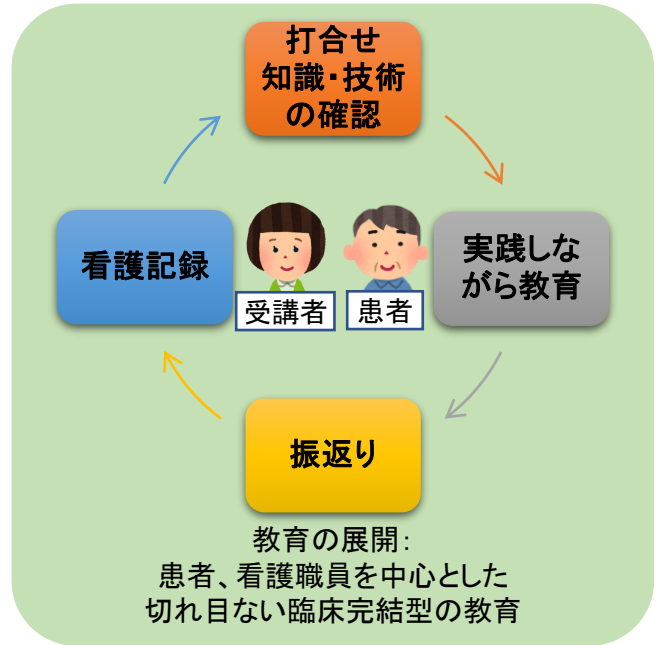


ラダーⅡ伊藤さん
排泄支援コース



ラダーⅢ田中さん
認知症・せん妄
コース

B病棟の 日勤スケジュール	
9時	オムツ交換
11時	ケア
12時	昼食
14時	オムツ交換

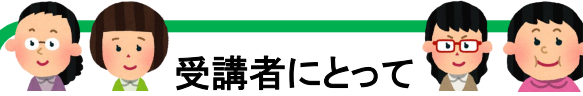


教育担当者の スケジュール

9時	A病棟 佐藤さんと環境整備
10時	A病棟 高橋さんとオムツ交換
11時	B病棟 田中さんと認知症があり身体拘束されている患者さんの抑制解除に向けたケア
12時	A病棟 鈴木さんと嚥下障害のある患者さんの食事介助
14時	B病棟 伊藤さんとオムツ交換



期待される効果



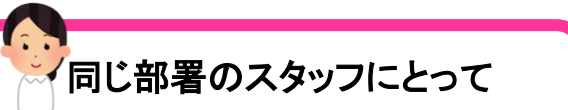
受講者にとって

- ・興味・関心がある分野のスキルアップできる。
- ・ラダーに対応した教育プログラムによりキャリア開発につながる。
- ・研修内容が実践に結び付く。
- ・困難事例を解決するヒントが得られる。
- ・研修のための勤務調整が少ない。
- ・業務が中断されにくい。



部署の看護管理者にとって

- ・部署の看護職員がスキルアップする。
- ・研修のための勤務調整が少ない。
- ・研修中の人員不足が生じにくい。
- ・教育担当者もケアに参加するため、**受講生が多いほど人手が増える。**



同じ部署のスタッフにとって

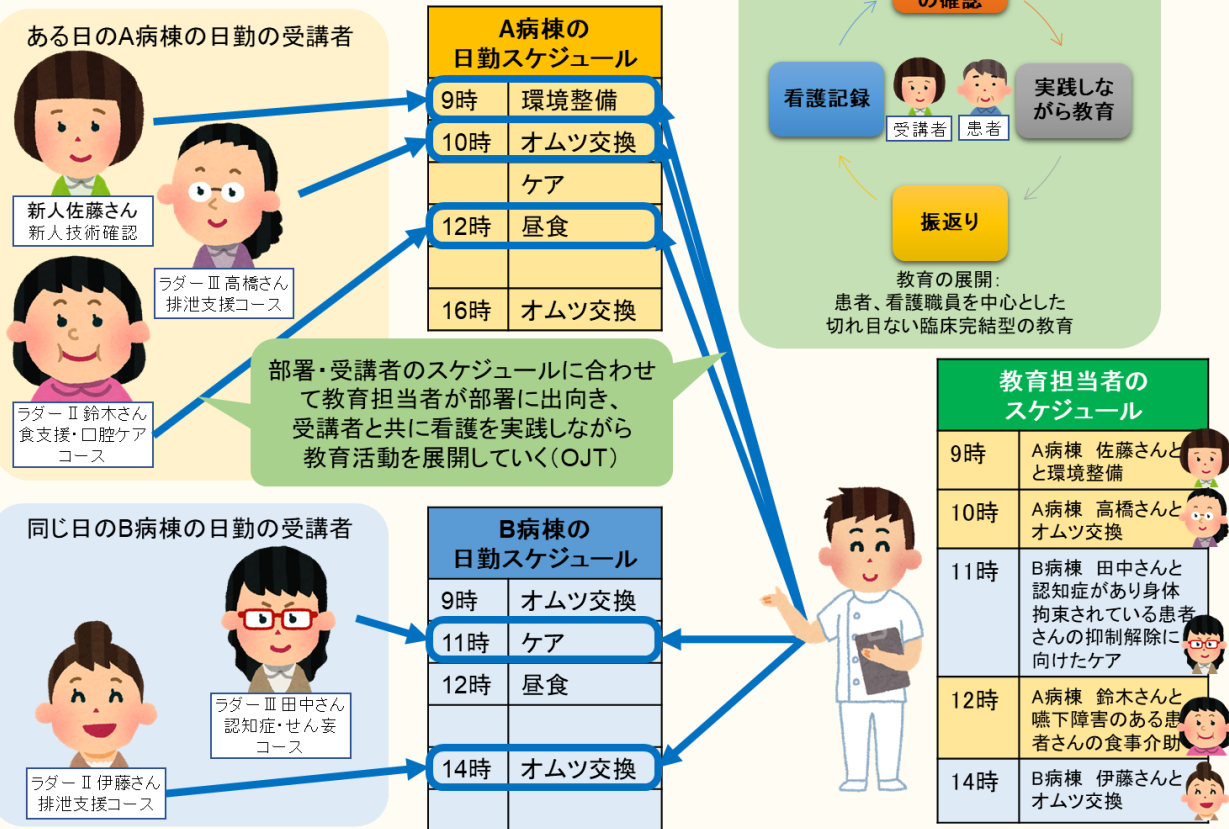
- ・困難事例解決のヒントが得られる。
- ・ロールモデルとなる看護師ができる。
- ・研修中の人員不足による負担を受けにくい。



患者さまにとって

- ・受持ち看護師が受講生の場合、OJTを通して受持ち看護師と教育担当者から、最善の看護を受けることができる。
- ・部署の看護職員のスキルアップにより、継続して質の高い看護を受けることができる。

専門看護コースの流れ



※新任者教育について

- 新人看護職員の教育も、専門看護コースの流れと同様にOJTで実施しています。

コースの概要

(授業要項)

コース名

高齢者の日常生活援助の質向上コース① 食支援・口腔ケア

コースのねらい:

高齢者の特徴を理解し、誤嚥性肺炎などを起こすことなく、おいしく口から食べることを支える看護実践能力を養う。

回	開講月	授業計画	授業外学習
1	5月	【講義・演習】 ・オリエンテーション ・「食べること」とは ・高齢者の摂食機能の特徴 ・KTバランスチャートを活用した高齢者の摂食機能障害のアセスメントとアプローチ(摂食機能療法、POTTプログラム、高齢者の口腔ケアなど)	【事前学習】 ・授業資料の精読 【事後学習】 ・授業資料の精読
2～21	6～3月 (受講者1名あたり、2回/月)	【OJT】 ・KTバランスチャートを活用した高齢者の摂食機能障害のアセスメント ・アセスメントに基づくアプローチ (摂食機能療法、POTTプログラム、高齢者の口腔ケアなど)	【事前学習】 ・授業資料の精読 【課題】 ・OJTにおける看護実践を看護記録に記載する(必要時計画の追加修正)
22	2月or3月	事例発表	

コース修了要件 ①10症例のSOAP記録 ②自部署内で勉強会の開催 ③事例報告1題

ラダーとの関連 ラダーⅠ～Ⅲ—看護の核となる実践能力—ニーズをとらえる力・ケアする力と関連
専門性の開発能力—学び続ける力と関連

教科書・授業資料 配布資料

コース名

高齢者の日常生活援助の質向上コース② 排泄支援・陰部洗浄

コースのねらい:

高齢者の特徴を理解し、日常生活に支障をきたすことなく、例え他人の手を借りても自尊心を保ちながら排泄できることを支える看護実践能力を養う。

回	開講月	授業計画	授業外学習
1	5月	【講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・排泄することとは ・高齢者の尊厳にかかわる排泄ケア ・高齢者の排泄障害の特徴とアセスメントと看護 	【事前学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業資料の精読 【事後学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業資料の精読
2～21	6～3月 (受講者1名あたり、2回/月)	【OJT】 <ul style="list-style-type: none"> ・排泄障害のアセスメント ・排泄支援の臨む姿勢づくり(高齢者の尊厳の尊重) ・排泄リズムの再獲得 ・排泄動作の不具合と残存機能の活用 ・オムツの適切な使用(・バルンカテーテルの適切な使用) ・排泄障害のアセスメントと看護 	【事前学習】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業資料の精読 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・OJTにおける看護実践を看護記録に記載する(必要時計画の追加修正)
22	2月or3月	事例発表	
コース修了要件		①10症例のSOAP記録 ②自部署内で勉強会の開催 ③事例報告1題	
ラダーとの関連		ラダーⅠ～Ⅲ—看護の核となる実践能力—ニーズをとらえる力・ケアする力と関連 専門性の開発能力—学び続ける力と関連	
教科書・授業資料		配布資料	

コースのねらい:

認知症・せん妄の特徴を理解し判別することができる。

認知症のある高齢者のその人らしさを尊重し、もてる力を発揮することを支える看護実践能力を養う。

また、身体拘束の最小化を図る。自部署、もしくは院内で教育活動、事例報告を行う。

回	開講月	授業計画	授業外学習
1	5月	【講義・演習】 ・オリエンテーション ・認知症の基礎知識 ・BPSDとせん妄のアセスメント	【事前学習】 ・認知症ケアマニュアルを精読 【事後学習】 ・授業資料を精読
2 ～ 5	6・7月 (受講者1名 あたり、 2回/月)	【OJT】 ・BPSDとせん妄のアセスメント	【事前学習】 ・認知症ケアマニュアルを精読 【事後学習】 ・OJTにおける看護実践を看護記録に記載する(必要時計画の追加修正)
6	7月	【講義】 ・認知症のための環境づくり(PEAP日本語版3) 【演習】 ・キャプション評価による環境点検と改善案の検討	【事前学習】 ・認知症ケアマニュアルの精読 【事後学習】 ・授業資料の精読 ・自部署の「あつ」と思う環境の撮影
7 ～ 11	7・8月	【OJT】 ・PEAP日本語版3に基づく認知症のための自部署の環境づくり	【事前学習】 ・キャプションカードの用紙の作成 【事後課題】 ・OJTにおける看護実践を看護記録に記載する(必要時計画の追加修正)

コース名

認知症・せん妄対応能力向上コース(実践編)(続き)

回	開講月	授業計画	授業外学習
12	9月	【講義】 ・認知症患者を良い状態に導くかかわり、悪い状態に至らせる関り 【演習】 ・認知症患者を良い状態に導くかかわり	【事前学習】 ・認知症ケアマニュアルを精読 【事後学習】 ・授業資料を精読
13 ～ 26	9～3月	【OJT】 ・BPSDのある認知症患者を良い状態に導くかかわり	【事前学習】 ・授業資料の精読 【課題】 ・OJTにおける看護実践を看護記録に記載する(必要時計画の追加修正)
27 ～ 29	9、10、11月	・看護職員対象「認知症看護研修」の企画・運営	
30	2or3月	事例発表	
コース修了要件		①PEAP日本語版3に基づく認知症のための自部署の環境づくりの： 2例以上 ②認知症患者のアセスメントと良い状態に導くかかわりの実践のSOAP記録、計画の立案・追加・修正： 3例以上 ③「認知症看護研修」の企画・運営 ④事例報告： 1題	
ラダーとの関連		ラダーⅠ～Ⅲ—看護の核となる実践能力—ニーズをとらえる力・ケアする力と関連 専門性の開発能力—学び続ける力と関連 ラダーⅤ—専門性の開発能力—学び続ける力と関連	
教科書・授業資料		並木病院 認知症ケアマニュアル 毎回の配布資料	

コースのねらい:

研究に必要な基本的知識を理解し、その方法を学ぶ。

自己の研究テーマの看護研究の論文をまとめ、院内外で発表する。

回	開講月	授業計画	授業外学習
1	5月	【講義・演習】 ・オリエンテーション ・看護研究について ・研究テーマの絞り込み	研究計画書の作成
2	6月	【講義・演習】 ・文献検討について ・文献検討	
3	7月	【講義・演習】 ・研究の種類について ・研究レベル、研究方法の検討	
4	8月	【講義・演習】 ・研究計画書について ・研究計画書の作成	
5	9月	研究計画書発表	
6～9	10～1月 (1回/月)	【演習】データ収集、分析、本文作成、抄録作成 スライド作成、発表練習	データ収集、分析 本文作成、抄録作成、スライド作成
10	2or3月	研究発表	抄録、スライドの追加・修正
コース修了要件		看護研究1題について抄録を作成、院内(外)研究発表	
ラダーとの関連		ラダーⅣ・Ⅴ—専門性の開発能力—学び続ける力と関連	
教科書・授業資料		毎回の配布資料	